

# エチオピア連邦共和国

- 首都：アディスアベバ
- 人口：8,283万人
- 面積：1,097万km<sup>2</sup>（日本の約3倍）
- 気温：年間平均気温16～30度程度
- 雨季：6～9月
- 言語：アムハラ語
- 主要産業：農業・畜産業
- 1人当たりGNP：220USD（2008年世銀）
- 通貨：ブル（USD1=12.78）
- 現大統領：ギルマ・ウォルデギオルギス・ルチャ氏



# エチオピア産地概況

- ハラーを除く他エリアは表作で生産量は500～550万袋との見方が一般的。
- 農家、農協共にNYCの上伸期待から原料をホールドしており、ECXへの集荷が芳しくない。
- シダモコーヒー、ハラーコーヒーの価格高騰が顕著。
- NGOのテクノサーブがジマエリアでウォッシングステーションの設立を進めている。
- 輸出業者の過去と経験則上の比較では、収穫年度毎の麻袋を使用する事や他の産物との共有不可について認識が少しずつ出来てきていると。

# 主なコーヒー生産地



US Dept of State, Geographer  
© 2012 Cnes/Spot Image  
© 2012 Google  
© 2012 ORION-ME

8° 34' 17.02" N 40° 42' 53.39" E 標高 1423 m

ソマリア  
Google earth

高度 1427.80 km

## エチオピアコモディティーエクスチェンジ (ECX ; Ethiopia Commodity eXchange)

- 2008年4月に発足した穀物商品取引所です。
- コーヒーをはじめ、小麦、トウモロコシ、白ゴマ、インゲン豆を取り扱っています。
- ECXの出現でエチオピアのコーヒー流通は大きく変化しました。

農協および大農園

小規模農家

仲介業者

ウォッシングステーションおよびドライミル

ECX各地倉庫（等級分けされ、それ毎に保管）

エチオピア・コモディティー・エクスチェンジ

輸出業者→輸入業者→焙煎業者の皆様